



のぞみふくいニュースレター



第38号 (H24年初春号)



(財) がんの子供を守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

今年 2012 年平成 24 年があげ、辰年 2 月に入りました。節分、立春を過ぎたのにもかかわらず、年末から一転、雪も多く、極寒の日本列島になっています。インフルエンザやノロウイルスなど、感染症も大流行。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。。。本年度 4 月から、財団法人がんの子供を守る会は、公益法人格を取得することになり公益財団法人 がんの子どもを守る会になります。福井支部はそのまま、支部活動を変わずにやっていきます。今年も、少しでも小児がん幹事とご家族の皆様のお力になれるよう、地道にやっていく所存ですので、変わらぬご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。(文責：代表幹事)

福井大学病院小児病棟クリスマス会

2011.12.21 お話タイムのメンバーさんが病棟主催のクリスマス会に参加し、紙芝居と、バルーンで子ども達と触れ合いました。病棟に出て来られる子ですが、少しの間、楽しい時間をすごせました。病室の子供たちにも全員にいき渡るように、福井支部からのクリスマスプレゼント(本部から支給のクリスマスプレゼントの提供品)を配っていただきました。皆さんに喜んでいただけてよかったです。

小児難病の患者さんのための教育相談会と、がんの子どもを守る会のピアカウンセリング

1月26日(木)午後1時から 福井県立病院3階 難病支援センターにて、開催しました。一組のご家族が相談に見えました。子供が小児がんだと言われた時の衝撃はどのようなものか。経験したものだからわかることです。聞き手の経験を思い出し、切実に悩んでいるご家族のお話をじっくりお聞きし、理解してあげることが、ピアカウンセリングの基本だと思います。アドバイスは二の次です。ご家族が少しでも心が軽くなれば、それがやりがいだと思います。

福井大学病院スタッフ様とがんの子どもを守る会の懇談会

1月26日(木)午後5時30分から、毎年、ボランティアで入らせていただいている関係で、病院の看護部長様、小児病棟看護部長様、病院の医療サービスの方たちと、こちらからの要望などをお伝えする会を開いていただけてます。大切な機会ですので、こちらからの要望だけでなく、病院の皆様の要望もお聞きでき、小児がんの子ども達と家族のために、一緒に考えていけたらいいなと思っています。

2月4日(土)福井県済生会病院 がん診療市民公開講座『がん哲学外来の役割』に参加しました。

大人のがんに関する講演会ですが、緩和ケア病棟、集学的がん診療センターがある済生会病院は大人の各種がん患者会もたくさんあり、患者さんが気軽に利用できるメディカルカフェ(いろんなコメディカルの方が介入して患者さんのお話を聞いてくれる場所)が月一回あります。病院内にこのような場所があることは理想だと私は思います。

厚生労働省のがん対策に関する見直し予算に小児がんに対して4億円が計上されました。

夜のニュース番組 ZERO でも放送されましたが、小児がんに関しても予算案が計上されました。これを元に各県がこれから、予算を立てます。これを元に県の健康増進課にお願いに行こうと思います。詳しい内容は、厚労省のHPでご覧になれます。(http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002113w.html)

2月26日(日)午後1時30分から 越前市生涯学習センターにて 丹南地区ピアカウンセリングを開催します。小児がんについて何かお話されたい方、お近くの方、お気軽にお越しください。